ＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会広報誌「歩くスキー第 10 号（平成 28 年度第１回)」平成２８年７月３０日

もっとスポーツを！！いつでも、どこでも、誰でもできる

歩くスキー

会　長　メ　ッ　セ　ー　ジ

平成２８年度総会のご報告

ＮＰＯ法人　北海道歩くスキー協会　会長　浜島　泉

平成２８年度通常総会が開催されました。(議題等は協会ニュースを参照下さい。)

平成２７年度の課題は、高齢化に伴い、理事、監事、執行委員、事務局の若返りを図ることでした。いろいろな面での改革をおこない、一定の成果を収めたと思います。その過程で、皆さまに多少のご迷惑をおかけした事をお詫び致します。

さて、平成２８年度も、この課題を一層進めるとともに、新たに湧きあがって来た課題への対応が迫られています。それは、数年前から考えられていたことですが、社会の様々な面での厳しさです。経済事情は逼迫しています。

昨年は大きな事業が中止になり、収入が大幅に減りました。寄付集めなどを行い、また創立４０周年記念事業の剰余金を本会計に繰り入れるなどしましたが、次年度は、この見込みが一層厳しくなります。事業に従事する正会員の交通費を支給していますが、これを減らすことにして予算を作成しました。そのうえで、赤字予算を総会に提案し、対応策として、会員の増加、イベント参加者の増加、寄付の強化、事業支出の削減を実行して行くことに致しました。

支援者の皆さんにも、これらの様ざまな面でのご協力をお願いすることになります。どうぞ今年も、よろしくお願い致します。

協　会　ニ　ュ　ー　ス

（ホームページ：h-arukuski. sakura. ne. jp も併せてご覧ください。）

平成２８年度　通常総会及び懇親会

平成２８年度通常総会が平成２８年６月１９日（日）にアサヒビール園ピルゼン館で開催いたしました。午前９時４５分から通常総会、引き続き１２時００分から懇談会を行いました。

議題は（１）平成２７年度会務運営報告、資産報告、（２）平成２７年度事業報告、（３）平成２７年度決算報告、（４）平成２７年度監査報告、(５)平成２８年度会務運営方針(案)、（６）平成２８年度事業計画（案）、（７）平成２８年度予算（案）、（８）第５期理事、監事補充選出の件　について審議致しました。

上記議題は５月３１日現在、正会員４９名の内総会の出席

者３３名、委任状１６名、計４９名で執行部原案通り可決されました。
（平成２８年度通常総会）

協 会 ニ ュ ー ス

○平成２８年度前期行事及び協力事業は下記のとおり承認されました。
平成２８年度後期事業計画は平成２８年１１月発行通巻第１１号（平成２８年度第２号）に掲載いたします。

月日（曜日）	事業名	場所・内容	備考
（1） 6/19（日）	通常総会・距離認定表彰式・会員親睦会	アサヒビール園ピルゼン館	実施済み
（2） 7/10（日）	イベント ①環境保護講座	澄川～西岡～福住～向ヶ丘通の植物観察会	実施済み
（3） 8/28（日）	2016北海道マラソン給水ボランティア	37.5ｋｍ給水所 走者に対する給水支援	ボランティア募集
（4） 9/1（日）	ツールド北海道２０１６ （市民ステージ）	豊平川河川敷 車両の誘導等	交通整理
（5） 10/9（日）	イベント②ウォーキング 札幌市南区郊外ウォーキング	地下鉄真駒内駅～エドウィン・ダン記念館他～保養センター駒岡	地下鉄真駒内駅集合
（6）11/27（日）	後期集会	アサヒビール園ピルゼン館	正会員対象 後期事業説明

○総会に引き続き懇親会及び距離認定表彰式が行われました。
１，０００ｋｍ表彰は　加藤　準　さんでした。誠に「おめでとうございます」。
懇親会では、昨年の行事等をスライドでふりかえり参加者の皆様が楽しんでいました。

（会長挨拶）

（通常総会の様子）

（距離認定表彰式　加藤 準さん）

（スライドページェントを楽しみながらの懇親会）

●平成２７年度物故者への黙とうを捧げました。
通常総会の議事に先立ち正会員として平成２８年５月２日に亡くなられたスノーモービルパトロール隊故伊藤　攻さんの御冥福を祈り全員で黙とうを捧げました。
スノーモービルパトロール隊の小川　洋さんは「昭和４９年協会創立当時からパトロール隊として永年一緒に活動してきました。特に故中川信治会長のころの羊蹄山一周コースや現在の札幌国際スキーマラソンでの活動が印象に残っています。今後一緒に活動できないと思うと非常に寂しい思いがします。」と語っておられました。
写真は「第４１回道民・市民歩くスキーの集い」（平成 28 年１月 24 日）で先導モービルとして活躍されていた伊藤　攻さんです。

協会ニュース

（平成２７年度　後期行事）

○第３４回　蘭越町ニセコ連峰歩くスキー大会　平成２８年４月３日（日）天候：雨後晴れ、気温６℃

（シャクナゲ岳を前方に見る）

蘭越町ニセコ連峰チセヌプリ山麓周辺で開催されました。当日の朝は雨の悪天候でしたがスタート後次第に回復し、青空の下での大会となりました。参加人員は約２３０名（道内外）で雨と霧のため白樺コース５ｋｍ、シャクナゲコース１０ｋｍの２コースに変更されました。スタート後は青空に映えるシャクナゲ岳、チセヌプリ等ニセコ連邦の雄大な自然と、柔らかな春の息吹を肌で感じながら、歩くスキーを満喫致しました。

東京から参加した５０代の男性は「羊蹄山はじめニセコの山々を見ながら完走できたので満足です」と実感を込めて話していました。

ゴール地点では暖かい豚汁や、入れたてのコーヒーが無料でサービスされ大好評でした。又、恒例のお楽しみ抽選会では、地元温泉無料宿泊券、特産品のらんこし米等々、又１００人にも景品があたり大会を盛り上げました。

○札幌市郊外・ウォーキング　平成２８年５月１５日（日）天候：晴れ、参加人員：１７名

（拓北駅前で記念写真）

ＪＲ学園都市線拓北駅～宮西頼母歌碑～ペケレット湖園～トンネウス沼～あいの里公園～ＪＲあいの里教育大駅～なごみ温泉の約８．５ｋｍで行われました。

開拓時徳島県から入植し、付近一帯で藍の栽培が昭和の初めまで盛んであったことから、あいの里と名づけられ、正式な町名となったそうです。自然を残した札幌郊外のニュータウンとして開発され新しい家並みと緑の景色の中会話を楽しみ歩きました。途中、ワスレナグサ、チュウリップ、ムスカリ等を観察しながらペケレット湖園に到着しました。

ペケレット湖園は湖水に隣接する北海道の樹林・植物と開拓時からの歴史を展示した有料の資料館とジンギスカン・カフェが有り、美しい芝生で囲まれた湖水には、沢山の鯉とカモ等の水鳥がおり、全道から集めた樹木と数多くの種類の野花が植えてありました。一周約３０分位の遊歩道を楽しく廻りました。散策後展示品を見たりカフェで美味しいコーヒーを飲みながら会話を楽しみました。

あいの里公園は、多くのトンボが生息しているトンネウス沼を中心に、野球場、テニスコート等があり、沼のまわりを周回する道がつけられていて、散策後広場のベンチで持参の昼食を取りました。前回も参加している女性は「新しい住宅街の周りに自然が醸し出す素晴らしい景観を観て感動で一杯になりました」とおっしゃっていました。解散後「あいの里なごみ温泉」で汗を流し帰路につきました。

（平成２８年度　前期行事）

○平成２８年度　環境保護講座「澄川・西岡・福住・向ケ丘通・ドーム周辺の植物観察会」

（参加者の皆さん）

平成２８年７月１０日（日）　天候：曇り後雨、気温：２３．５度Ｃ（午前１０時）、参加人員：３０名、

昨年の大通公園に続き「澄川～西岡～福住～向ケ丘通り・ドーム周辺」約５ｋｍの行程で植物・樹木について浜島会長が講師を務める環境保護講座でした。まず、住宅街の花壇を観察し、会長の説明をメモしながら「植物図鑑」と比較して学びました。澄川地区：グズ、シダレカンバ、オヒョウ等　西岡地区：ニガナ、ドロヤナギ、ブタナ等、福住地区：トチノキ、オトギリソウ等　向ケ丘通り地区：ギンラン、ハリギリ、シロバナシナガワハギ等、ドーム周辺ではセイヨウミヤコグサ等がありました。午前１１時頃から雨が降り出し濡れながらの観察会となりましたが、雨が降ると活き活きして花も樹もひと味違う綺麗さがありました。

参加した女性会員は「今日は季節や天候そして時刻によっても表情を変える植物の姿を観察する事ができ植物の魅力や不思議さを学ぶことができました」。

又６０代の男性は「自然は、人の価値観も一定ではなく、無くなりかけるとその重要性に気が付きます。そのときにはすでに遅く、次の世代には残らなくなっているかもしれません。自然のもつ豊かさは我々だけではなく、次の世代に引き継いでいかなければなりません、環境保護の意味を今日は教わりました」とおっしゃっていました。

会　員　の　広　場

（平成２８年度　新任役員のご挨拶）

「お客さま・仲間・自分、皆が楽しい！平成２８年度に向けての思いを一言！」　理事　津久井　好雄

「しっかりした大会運営とこれに流れる温かい思いやりの雰囲気」が、当協会に対する入会以来の印象でした。この組織風土は、昭和４９年の創立以来多くの先輩の皆さまが連綿と育まれた結果、今日に至っているものと思っています。

特に、これから６か月後にスタートする冬期各事業は、お客さまを募って、協会役員等で運営するというサービス事業ですが、参加されるお客さまもきっと、この温かい思いやりの雰囲気を感じ取っていただいているものと確信しています。

今年度からいくつかの事業の主務者として運営に携わって行きますが、北海道歩くスキー協会の大会に参加して楽しかった。また、次回も是非参加しよう！という気持ちを持っていただけるような取組が出来れば最高と考えています。「お客さまが楽しく、仲間が楽しく、自分も楽しい」そんな活動をしたいと思っています。

「監事就任あいさつ」　監事　井本　龍彦

協会の会員は自ら希望して加入する人もいるが、多くは協会から請われて会員になっている。一般会員から正会員となり、協会の事業活動を重ねるうちに次第に次世代の人材として成長する人が多く、そのような人が会長から依頼されて役員になっているようである。

そのような場合でも、役員就任後は事業活動の課題に喜々として楽しみながら取り組んでおり、役員が天職のように誠意を持って働くのを見て感心することが多い。

このたび縁があり監事を仰せつかったので、皆さんに学んで精一杯役割を果たしたい。よろしくお願いたします。

（事務局からのお知らせ）

〇会員募集のお知らせ

ＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会では広く会員（年会費 2,000 円）を募集しています。夏期はウォーキング等、冬期はクロスカントリースキー講習会、春山歩くスキーハイキング等を実施しています。

当協会は広く一般の人々に対して歩くスキーに親しむ機会を提供するとともに、歩くスキーの指導者の育成及び環境保全の普及に関する事業等を行い、生涯スポーツとしての歩くスキーの普及と、市民の健康増進に寄与することを目的とする団体です。

〇会費のお知らせ

会費のご案内ですが、平成 28 年度分の会費（2,000 円）を 7 月末日までに納めて頂ける様お願い致します。協会は会員の皆様方に支えられておりますので、何卒ご理解の程宜しくお願い致します。

（寄付者の名簿）　期間：平成 28 年 4 月から 7 月

寄付金の実績はありませんでした。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。

〇はじめての人でも「歩くスキーを楽しめる本」

歩くスキーを初めての方にもわかりやすく解説している本です。

定価　８４０円　事務局に有ります。

（書店にはありません）

NPO法人　北海道歩くスキー協会事務局

〒060-0808 札幌市北区北8西3丁目28番　札幌エルプラザ2階

TEL, FAX：（011）－747－1505

受付日：火、水、金、土曜日

受付時間：10時00分～17時00分

ホームページ　：　h-arukuski.sakura.ne.jp

メール　：　h_arukuski@yahoo.co.jp

郵便為替、口座記号番号：02740－8－100335　北海道歩くスキー協会